



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月5日

上場会社名 イサム塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,729	4.8	126	2.2	153	8.1	94	33.1
2021年3月期第1四半期	1,650	7.6	123	19.8	167	12.9	141	7.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 86百万円 (46.8%) 2021年3月期第1四半期 161百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	49.48	
2021年3月期第1四半期	73.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	19,014	15,866	81.4	8,113.92
2021年3月期	18,941	15,830	81.5	8,096.16

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 15,468百万円 2021年3月期 15,434百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		25.00		25.00	50.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,480	1.1	260	0.8	320	3.6	220	14.9	115.40
通期	7,000	2.2	550	4.4	670	4.5	460	9.7	241.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。2021年5月10日の決算発表日に公表しました上記の連結業績予想は対前期及び対前年同四半期増減率を記載しておりませんが、当該会計基準等を適用した場合の影響額が軽微であるため、当第1四半期決算短信より対前期及び対前年同四半期増減率を記載しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	2,400,000 株	2021年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	493,647 株	2021年3月期	493,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,906,353 株	2021年3月期1Q	1,906,481 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大やそれに伴う政府や各地方自治体の要請等に企業としての対応が必要とされる厳しい状況にあり、3度目の緊急事態宣言が発出されながらも、感染症対策と経済活動の両立を目指す中、企業収益は依然厳しさは残りつつ、一部には改善の動きがみられます。個人消費はサービスを中心に弱い動きになっているものの、設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は依然として弱い動きとなる中で、雇用者数等の動きに底堅さもみられます。一方で世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国においては、コロナワクチン接種効果が期待されつつも、新型コロナウイルス感染症再拡大や原油価格の動向など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは一定の需要に応えるべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17億29百万円（前年同四半期比4.8%増加）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は1億26百万円（前年同四半期比2.2%増加）、経常利益は1億53百万円（前年同四半期比8.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同四半期比33.1%減少）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①塗料事業

売上高は17億4百万円（前年同四半期比4.9%増加）、営業利益は1億15百万円（前年同四半期比3.5%増加）であります。

#### ②その他

売上高は25百万円（前年同四半期比1.5%減少）、営業利益は11百万円（前年同四半期比9.9%減少）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は72百万円増加、負債は37百万円増加、純資産は36百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、商品及び製品58百万円、有形固定資産36百万円、減少の主なものは現金及び預金1億5百万円であります。

負債の増加の主なものは、未払金1億22百万円、支払手形及び買掛金1億10百万円、減少の主なものは未払法人税等1億19百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金47百万円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日の決算発表日に公表しました前回予想に変更はありません。

なお、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,493,271	5,388,537
受取手形及び売掛金	2,043,022	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,035,966
有価証券	1,501,337	1,500,758
商品及び製品	859,256	916,926
仕掛品	128,700	157,010
原材料及び貯蔵品	209,666	246,742
その他	30,259	100,470
貸倒引当金	△8,328	△6,929
流動資産合計	10,257,183	10,339,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,842,488	2,904,188
減価償却累計額	△1,808,918	△1,824,811
建物及び構築物(純額)	1,033,570	1,079,377
機械及び装置	660,070	658,880
減価償却累計額	△494,400	△504,532
機械及び装置(純額)	165,670	154,348
工具、器具及び備品	497,699	507,790
減価償却累計額	△391,929	△399,963
工具、器具及び備品(純額)	105,770	107,827
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	79,554	79,554
減価償却累計額	△57,555	△59,563
リース資産(純額)	21,999	19,991
建設仮勘定	—	1,682
有形固定資産合計	2,671,476	2,707,692
無形固定資産		
ソフトウェア	29,690	28,344
施設利用権	456	428
電話加入権	6,555	6,555
無形固定資産合計	36,701	35,327
投資その他の資産		
投資有価証券	4,059,245	4,039,452
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	477,356	485,539
繰延税金資産	208,850	173,354
その他	32,457	34,917
貸倒引当金	△2,251	△2,251
投資その他の資産合計	5,975,657	5,931,011
固定資産合計	8,683,834	8,674,030
資産合計	18,941,017	19,013,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,691	472,777
電子記録債務	1,148,550	1,136,336
リース債務	8,603	8,073
未払金	203,164	325,377
未払法人税等	137,771	18,905
未払消費税等	24,911	40,762
前受金	4,280	4,251
預り金	74,178	83,819
賞与引当金	112,348	32,995
その他	41,806	31,727
流動負債合計	2,118,302	2,155,022
固定負債		
長期預り保証金	265,239	266,526
リース債務	15,535	13,878
繰延税金負債	61,592	57,681
役員退職慰労引当金	80,518	84,352
修繕引当金	97,500	99,375
退職給付に係る負債	471,864	470,534
固定負債合計	992,248	992,346
負債合計	3,110,550	3,147,368
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,635,586	13,682,258
自己株式	△982,207	△982,207
株主資本合計	15,153,909	15,200,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,221	267,414
その他の包括利益累計額合計	280,221	267,414
非支配株主持分	396,337	398,147
純資産合計	15,830,467	15,866,142
負債純資産合計	18,941,017	19,013,510

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,649,825	1,728,738
売上原価	1,119,081	1,193,169
売上総利益	530,744	535,569
販売費及び一般管理費	407,375	409,498
営業利益	123,369	126,071
営業外収益		
受取利息	102	43
有価証券利息	4,966	3,652
受取配当金	8,667	9,377
受取賃貸料	13,205	13,478
塗装情報サービス会費	7,308	—
貸倒引当金戻入額	3,102	1,399
その他	6,397	3,501
営業外収益合計	43,747	31,450
営業外費用		
支払利息	37	37
支払補償費	13	3,832
棚卸資産廃棄損	97	—
その他	65	219
営業外費用合計	212	4,088
経常利益	166,904	153,433
特別利益		
投資有価証券売却益	45,915	—
特別利益合計	45,915	—
税金等調整前四半期純利益	212,819	153,433
法人税、住民税及び事業税	32,700	16,766
法人税等調整額	34,484	38,079
法人税等合計	67,184	54,845
四半期純利益	145,635	98,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,648	4,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,987	94,331

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	145,635	98,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,628	△12,807
その他の包括利益合計	15,628	△12,807
四半期包括利益	161,263	85,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,604	81,524
非支配株主に係る四半期包括利益	4,659	4,257



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した地点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来は販売奨励金等の確定額のみを売上高から控除しておりましたが、販売奨励金等の見込額を確定額に加えて売上高より控除しております。また、有償支給取引において、従来は支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。さらに、営業外収益として計上しておりました塗装情報サービス会費を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は88,377千円減少し、売上原価は85,599千円減少し、営業利益は2,778千円減少、営業外収益は7,222千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,000千円減少しております。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,624,312	25,513	1,649,825	—	1,649,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,624,312	25,513	1,649,825	—	1,649,825
セグメント利益	111,069	12,300	123,369	—	123,369

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合 計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,703,610	25,128	1,728,738	—	1,728,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,703,610	25,128	1,728,738	—	1,728,738
セグメント利益	114,988	11,083	126,071	—	126,071

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の塗料事業の売上高は88,377千円減少し、セグメント利益は2,778千円減少しております。